

# 令和元年度 山日YBS山梨県ソフトバレーボール小学生大会

## 開 催 要 項

- 1 目 的 ・生涯スポーツの一環として、ソフトバレーボールの実践活動を、低年齢層から習慣化させるために、小学生バレーボールの普及・振興に努めるとともに、小学校におけるソフトバレーボール教材の取り扱いの定着と発展を図る。
- 2 主 催 山梨日日新聞社 山梨放送 山梨県小学生バレーボール連盟
- 3 主 管 山梨県小学生バレーボール連盟
- 4 後 援 山梨県バレーボール協会 山梨県ソフトバレーボール連盟
- 5 協 賛 (株)モルテン (株)ミカサ
- 6 期 日 令和元年 9月16日(月：敬老の日) ※受付開始：午前8時30分～
- 7 開催場所 小瀬スポーツ公園体育館 (甲府市小瀬町840)
- 8 参加者 山梨県内小学校に在籍する、4年生以下の児童。
- 9 チーム編成 ①監督・コーチ・マネージャー・選手7名以内(男女混合可)とする。ただし、監督・コーチ・マネージャーは5・6年生児童又は大人とし、引率の責任者は大人とする。  
②1団体で2チーム以上出場する場合は、監督は重複しないこと。
- 10 競技規則 ・2019年度(公益財団法人)日本バレーボール協会ソフトバレーボール小学生競技規則に準ずる。(一部山梨県小学生バレーボール連盟ルールを適応)  
・服装については、特に定めないが競技に支障のないものを着用のこと。また、胸と背中に1番から7番までの番号を付けることが望ましい。  
・小学2年生以下で構成される場合については、コート内に4～6人でプレーすることを認める。(平成29年度より。山梨県小連ルール)
- 11 使用球 ・(株)モルテン製及び(株)ミカサ製のソフトバレーボール球(重さ100g)を使用。(ビニール製)
- 12 競技方法 ・1試合は15点3セットマッチとし、どのチームも2試合以上行うこととする。  
・審判・補助役員は各チームの5・6年生児童又は指導者で運営する。  
・サーブについてはアンダーサーブとし、フローターサーブ・サイドサーブ(打点が腰をこえるもの)は禁止とする。
- 13 組 合 せ ・山梨県小学生バレーボール連盟指導普及委員会の責任抽選により決定する。
- 14 表 彰 各パートの1位・2位チームを表彰する。
- 15 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し、下記の各支部指導普及委員に申し込むこと

- ① 山梨県小学生バレーボール連盟加盟関係チームについて (評議員会資料を参照)

支部名	指導普及部員名
第1支部	佐野友彦
第2支部	小宮山 斉
第3支部	深澤智明
第4支部	前沢 学
第5支部	深澤智明(委員長)
第6支部	瀧本兼一
男子支部	高谷久志

※混合のチームは各支部へ申し込んでください。

- ② 一般小学生チーム（山梨県小学生バレーボール連盟と関係なく参加する場合）  
申し込み先…深澤智明（指導普及委員長）宛 〒405-0006 山梨市小原西367 （郵送）  
お問合せ：Tel:090-3246-6787

- 16 申込締切 **令和元年 8月30日（金） ※期限厳守で必着のこと！**  
※各支部の指導普及委員は、8月31日（土）迄に深澤指導普及委員長に報告すること。
- 17 参加料 1チームにつき **1500円**（冷房費含む）※1団ではなく1チームですのでご注意ください
- 18 問合せ先 不明な点は、深澤智明（~~副連~~指導普及委員長 Tel:090-3246-6787）に問い合わせ下さい。  
\*「問い合わせ」は、代表指導者又はチーム指導者が行うこと。
- 19 その他
- ①大会中の傷害については、応急処置のみ行うが、その後の責任は負わない。
  - ②チーム構成員は、スポーツ傷害保険に加入していること。
  - ③飲食は決められた場所ですること。なお、ゴミや缶類は各チームの責任において必ず持ち帰ること。
  - ④応援について
    - ・チーム構成員及び引率責任者以外の保護者の応援は、必ずギャラリー席で行うこと。フロアー及びステージでの応援は禁止とする。
  - ⑤各チームは、ネームプレートを用意する。（自作のもの）  
（チーム名は所属チームが分かるように、また長くならないように（7文字程度）つけてください）  
例：○里垣ドリーム ×バボちゃんズ ×南部スペシャル火の子ちゃんズ
  - ⑥ベンチスタッフ（監督、コーチ、マネージャー）は、「マーク」をつけること。（手製のものでも可）
  - ⑥各チーム監督は、8時40分からの監督会議に必ず参加すること。
  - ⑦忘れ物が無いように十分注意する。
  - ⑧会場への入場は、2階入り口からとする。外履きはチームでまとめて管理する。（玄関には置かない事！）
  - ⑨バレーボール人口を増やすべく、スポーツ少年団以外の子どもの参加を呼びかけてください。
  - ⑩今年、JVAの事業である「2019年度都道府県小学生バレーボール啓発事業」の一環として開催する。
  - ⑪この開催要項のほかに、別紙【競技要項】を必ず熟読してください。



つづく



**【競技要項】あり！**



## 競 技 要 項 ※ (必ず読んでください)

- 1 日 程
- 役員集合 … 午前7時30分 (コントローラーを含む)
  - 会場準備 … 午前7時35分
  - コントローラー打合わせ … 午前8時15分
  - チーム集合 … 午前8時30分**
  - 監督打合せ(全) … 午前8時40分 (サブアリーナ 監督、コントローラー参加)
  - チーム整列開始 … 午前8時50分
  - 開 会 式 … 午前9時00分**
  - 監督打合せ(パート) … 午前9時15分 (コートごとコントローラー中心に)
  - 競 技 開 始 … 午前9時30分**
  - 閉 会 式 … 全競技終了後
- 2 競技規則 2019年度 (財団法人)日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール(小学生)競技規則を用いる。(一部山梨ルールを適応)
- ・コートの大さき … 13.4m×6.1m (バドミントンコート)
  - ・ネットの高さ … 1.8m
  - ・フリーポジション制
  - ・ラリーポイント制 (15点)
  - ・フローターサーブ、サイドサーブ (打点が腰をこえるもの)等は禁止とする。  
(山梨ルール)
  - ・通常4人制だが、小学2年生以下で編成するチームは4～6人制を認める。
- 3 競技方法
- ・1つのコートに2つのパートを入れ、各パートを交互に試合を行う。
  - ・15点・3セットマッチとし、どのチームも原則3試合ずつ試合を行う。
  - ・デュース2点差をつけるか、17点先取のチームを勝ちとする。
- 4 試合順序
- ・競技組合せ表に記載の丸数字を各コートの試合順とする。
- 5 競技について
- 1) 4チームで1パートの場合 (1コート、6試合)
    - ア) 4チームによるリーグ戦を行い、順位を決める。
  - 2) 6チームで1パートの場合 (1コート、9試合)
    - ア) 3チームずつでリーグ戦をし、各パートの1位、2位、3位同士で順位決定戦を行う。
  - 3) 順位決めについて、同じ勝敗の場合
    - ア) セット率の大きいチームを上位とする。  
※ セット率 (総得セット ÷ 総失セット)
    - イ) さらに同率の場合は、得点率の大きいチームを上位とする。  
※ 得点率 (総得点数 ÷ 総失点数)
  - 4) 公式練習は、全試合とも合同で5分間行うこととする。
  - 5) 昼食時間は、基本的にはパートごとに、第5試合が終了したところで45分間取る。(12時頃を目安とするが、進行状況により、考慮する。)
  - 6) 試合球は、モルテン社及びミカサ社のビニール製で日本バレーボール協会制定の重さ100g、円周78±1cmのものを使う。
- 6 競技運営
- ・審判・補助役員は各チーム付きの5・6年生の子ども及び指導者が運営する。(監督、コーチ、マネージャーは、マークをつける)

- ・各コートの第1試合の審判については、6チームで1パート（△△のコート）のところは第6試合の両チームで、それ以降は、試合を行った両チームが協力して次の試合の審判を行うものとする。  
4チームで1パート（□のコート）のところは、空きの両チームで協力して行う。
- ・ゲーム中コートサイドには、ベンチスタッフ（監督、コーチ、マネージャー）と選手以外は立ち入ることができない。それ以外の関係者は、2階の応援席で応援する。  
(安全確保のため)

7 表彰

- ・各パートで1位・2位のチームを表彰する。
- ・1位チームには賞状と盾、2位チームには賞状を贈る。
- ・各パートの1位、2位のチームにはボールを授与する。

8 その他

- ・競技に支障がないものを着用すること。また、胸と背中に1番から7番までの番号を付けることが望ましい。
- ・チーム名プレートは各チームで用意すること。（7文字程度以内）

\*主なルール

- ・コート…バドミントンのコート（外側のライン）
- ・ネットの高さ…1.8M
- ・ボール…モルテン社及びミカサ社のビニール製100g球
- ・4年生以下4人による（混合可）フリーポジション制。ただし2年生以下で構成される場合は4～6人によるフリーポジション制とする。
- ・ラリーポイント15点制、3セットマッチで行う。最高17点まで。
- ・6人制ルールに準ずるが、ブロックのオーバーネットは反則となる
- ・サーブは、ショートサービスラインより後方で行う。アンダーサーブとする。それ以外は反則とする。ボールのヒット位置は腰の位置より下（山梨ルール）。
- ・ネットインサーブは、反則となる。
- ・ベンチスタッフ全員マークをつける。

\*コントローラーの役割

- ・各コートに配置され、審判やゲームをコントロールする。
- ・朝のコントローラー打合せ、コントローラー監督打合せに参加する。
- ・特に試合終了から次の試合の回しつけをスムーズに行う。
- ・試合結果を審判に記録席に報告させる。
- ・コートごとに昼食時間を設定するため、時間設定と午後のゲーム開始をコントロールする。
- ・コントローラーの服装は、紺の半袖ポロシャツを着用する。